

SS 探究 群馬県理科研究発表会

令和6年11月4日 群馬大学にて開催

「群馬県理科研究発表会」は、小学校から高等学校の児童・生徒が日頃の研究の成果を発表するものです。高等学校では、物理・化学・生物・地学の口頭発表と、ポスター発表の5部門があります。

本校からは、2年生の生徒15名が各部門に分かれ14の発表を行いました。生徒たちにとっては、1年間で最も大きな発表会であるため、発表前日まで実験や発表資料の作成を行い、持てる力をすべて発揮できるよう努力を続けてきました。生徒たちは、自分の研究テーマについて堂々と発表を行い、審査員の先生方や他の発表者との質疑応答でも白熱した議論を行うことができました。

以下に入賞結果の一覧を記します。審査の結果、2つの部門（生物部門、地学部門）で最優秀賞を獲得することができ、来年度の全国総合文化祭の出場権を獲得することができました。これら以外にも複数の発表が入賞することができました。今後の生徒たちのさらなる研究の進展を期待できる発表会となりました。

部門	発表テーマ	入賞結果
物理	「食品を設定した温度に自動で温める」	自然科学専門部会長賞
	「廃棄されてしまう毛髪の断熱材としての利用」	審査員奨励賞
化学	「疑似微小重力環境下におけるぬか漬けの開発」	審査員奨励賞
生物	「学校での線虫飼育」	最優秀賞 →次年度 全国総合文化祭出場
	「葉焼けを防ぐ方法の模索」	審査員奨励賞
地学	「群馬県における夕立の傾向」	最優秀賞 →次年度 全国総合文化祭出場
ポスター	「災害時におけるソーラークッカーの活用法」	自然科学専門部会長賞
	「災害時の小型風力発電の制作」	審査員奨励賞

